

**2002 KSC #6  
爪木埼レース**

**実施要項**

**2002年9月13日**

**共催：JSAF加盟団体 外洋三浦、外洋東京湾、外洋三崎、外洋湘南  
JSAF加盟団体 神奈川県セーリング連盟**

**運営：2002関東選手権実行委員会/外洋三崎・油壺フリート  
協力：三崎マリン(株)**

## 1. 責任の所在

艇と乗組員の安全の確保はオーナーの避けられない責任であり、オーナーは所有艇を最良な状態で十分な対航性を保ち、荒天の海においても対抗できる経験豊かなクルーを乗り込ませるよう万全を尽くさねばならない。さらに、オーナーは船体、スパー、リギン、セールおよび他のすべての備品を確実に整備し、また特別規定安全備品が適正に維持格納され、それらの使用方法と置き場所をすべてのクルーに熟知させておかなければならない。また、レース艇がスタートするか否か、あるいはレースを続行するか否かはすべて各艇の責任のみで決定される。

本レースのレース委員会および実行委員会はレースの公平な成立のみに責任を担う。また、レースコースにおいて、主催（共催）、運営、協力に関する団体等はレース参加艇の乗員および安全について、何ら責任を負うものではない。

オーナーおよび艇長は上記基本規定を遵守し、且、乗組員各人に周知徹底の上、自己の責任を承知させること。

2. 共催 : JSAF加盟団体 外洋三浦、外洋東京湾、外洋三崎、外洋湘南  
JSAF加盟団体 神奈川県セーリング連盟

3. 運営 : 2002 関東選手権実行委員会/外洋三崎・油壺フリート

## 4. 適用規則

- 4-1 2002KSC#6爪木埼レース実施要項及び追加帆走指示書
- 4-2 2002KSC特別規定、KSC共通実施要項及び共通帆走指示書
- 4-3 海上衝突予防法
- 4-4 JSAF特別規定 2001-2002
- 4-5 セーリング競技規則2001-2004 (RRS)
- 4-6 IMS2002及びIMS レギュレーションズ (IMS2002)
- 4-7 JSAF ORCクラブ運用規定 (ORC-club Ruleが発行された場合はこれに準拠する)
- 4-8 JSAF 外洋レース規則 - 2000 (第08条は本レース通信指示書におきかえる)

**\* 上記4-1～4-8に矛盾が生じた場合は、4-1が優先される。**

## 5. 参加資格

- 5-1 有効な2002年版IMS計測証書を有し、IMSレギュレーションズ2002のレーサー、またはクルーザー/レーサーのディビジョンを満足しているLOA 7.5m以上の艇。アコモデーションノンフアイルドの艇には、IMSレギュレーションズ2001は1章と2章のみ適用する。(IMSルールブックはレース中、艇内に常備していること)
- 5-2 ORCクラブ2001の計測証書を有し、LOA 7.5m以上の艇。
- 5-3 JSAF特別規定2001-2002 オフショアレース カテゴリー 4以上を確認申請済みの艇。
- 5-4 有効な船舶検査証を有する艇でかつ、JSAF本部の登録艇。

5-5 レース期間中以下の付保範囲を持つ有効な保険を有している艇。

5-5-1 賠償責任保険

5-5-2 搭乗者傷害保険（全乗員分）

5-5-3 捜索救助費用保険

5-6 以下のKSCシリーズ特別規定の装備を満足している艇。

5-6-1 JSAF 特別規定 2001-2002 の“第4章03(a)(b)”の規定を満たし、取付後1年以内のものであること。

5-6-2 セイフティハーネスは最新のもので、ハーネスラインは2m以内でかつラインの両端がクリップ仕様のもの。

\*1. 全乗員の1/2以上の定員を有する検査有効期限内のライフラフトの搭載を強く推奨する。

\*2. 乗組員全員のパーソナル高輝度ランプか、ストロボライトを携帯することを強く推奨する。

5-7 無線設備が以下の条件を満たしている艇。

5-7-1 JSAF 海岸局に加入し同海岸局と通信ができる（Ch71、74が免許状に記載されている）VHF無線（マリンVHFを含む）通信局を開局している艇。

5-7-2 VHF局を開局していない艇は、相模湾全域で使用できる2台以上の携帯電話でも認める。

5-7-3 携帯電話を用いる場合は以下の装備と条件を満たす事。

5-7-3-1 携帯電話を収容出来るウオータープルーフのバッグ。

5-7-3-2 艇内の電源から携帯電話のバッテリーを充電出来る装置の搭載。

5-7-3-3 携帯電話の電話番号をレース委員会に通知すること。

\*携帯電話での運用は携帯電話用外部アンテナの設置を推奨する。

5-8 乗員資格

5-8-1 オーナーと艇長は2002年度JSAF外洋系会員であること。

5-8-2 乗員の51%以上は2002年度JSAF 外洋系会員であること。

6. 乗員の登録

6-1 クルー登録は所定の用紙に必要事項の記入およびJSAF会員証のコピーを添付すること。

6-2 IMSクラスのクルー体重ウェイトインは行わないが、自己において体重測定を行い出艇申告書に記入提出のこと。

7. レース日程

7-1 2002年10月5日（土）13:55 予告信号

7-2 タイムリミット 2002年10月6日（日）15:00

8. コース : 佐島沖 - ウェガ - マーク（設置した場合） - 爪木埼北東方浮魚礁灯（反時計廻り） - 網代埼灯浮標（右に見て） - 小網代湾（約80マイル）

ウェザーマークが設置されている場合には本部船にW旗を掲げ、且つマークをポートサイドに見て回航する。

ウェザーマークのおおよそのコンパス方位及び距離は、遅くともスタート予告信号前までに本部船に掲示する。

## 9 . クラス

### 9-1 IMS

基本的にクラス分けをしないが、参加艇数によってはクラス分けを行う。

### 9-2 ORC クラブ

基本的にクラス分けをしないが、参加艇数によってはクラス分けを行う。

## 10 . レースの成立

IMS、ORCクラブ、各クラス共1艇以上のタイムリミット内フィニッシュを持って各クラス成立する。

## 11 . インспекション

レースの公平さを保持するため、またオーナー、艇長の避けられない責任を喚起するため原則行うこととし、フィニッシュ時においてレース委員会の判断により、フィニッシュした全艇又は任意に選択した艇に対して実施される場合もある。

## 12 . 参加申込み

必要書類（以下の指定書類を一括してファクス送付案内と共にお送り下さい。）

### 12-1 レース参加申込書。（参加料振り込み証書のコピーを添付）

**\* 通信設備に係わらず、携帯電話の番号（1台以上）を記載してください。**

### 12-2 レーティング証書。（コピー）

### 12-3 自己申告にて加盟団体事務局へ送付したSRチェックシートの署名済み表紙。（コピー）

### 12-4 ヨット賠償責任保険証書。（コピー）

### 12-5 出艇申告書。

### 12-6 JSAF 外洋系会員証。（コピー）

**申し込み先（申し込みはファクスのみ） 03-3254-4352**

**申し込み締め切り 2002年9月27日（金）17.00 期限厳守**

## 13 . レイトエントリー

### 13-1 2002年9月30日（月）17:00

### 13-2 レイトエントリーフィーは特別な理由がない限り、出艇料30,000円とする。

## 14 . エントリーフィー振込先

必ずセールナンバー、艇名で振込みをすること

出 艇 料 20,000 円

乗員参加料 JSAF 外洋加盟団体会員 / 0 円、非会員 / @5,000 円

振 込 先 東京三菱銀行 神保町支店 普通 口座番号：1872807

口座名：外洋三崎油壺フリート代表和久井喜治郎

#### 15 . 問い合わせ

問い合わせ質問はEメールのみ受け付けます。

艇名・質問者氏名・日付を明記し出来るだけ箇条書きにて問い合わせ下さい。

質問内容と回答は参加申込者（連絡責任者）にEメールにて開示します。

2002KSC#6 爪木崎レース事務局：tsumeki@jsaf.or.jp

URL： <http://www.jsaf.or.jp/misaki/>（必要書類の掲示もしてあります。）

#### 16 . FAX サービスメニュー

FAX NO 0468-53-5271

BOX NO 0010 : 共通参加申込用紙 出艇申告用紙 会員証コピー用紙  
レース報告書 航跡図が取り出せます。

BOX NO 0061 : 実施要項

BOX NO 0062 : 追加帆走指示書

BOX NO 0065 : リザルト

#### 17 . 艇長会議

本レースは爪木崎北東方浮魚礁灯（通称；マリンロボ）を回航する初回のレースになるので、  
10月3日（木）18:30～東京建物八重洲ホール（東京都中央区八重洲1 - 9 - 8、YISMメ  
ガビルB2F）で行われる2002関東選手権の艇長会議への出席を義務といたします。

\* 本実施要項に記載されていない事項は追加帆走指示書において記されます。

#### 18 . 2002 関東選主権実行委員会

実行委員長 外山昌一

副実行委員長 稲葉文則、川久保史朗、福田義一

レース委員長 浜崎濠次郎

副レース委員長 山下弘雄、山中昭弘

プロテスト委員長 大村雅一

以 上